

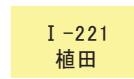
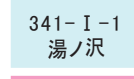





# 土砂災害ハザードマップ(弘前市大久保地区)

農-11大久保

大久保集会所

## 凡 例

-  土砂災害警戒区域
-  土砂災害特別警戒区域
-  急傾斜の崩壊危険区域
-  土石流危険溪流
-  地滑り危険区域
- <施設>
-  指定避難所
-  避難可能施設



# 土砂災害に備えて

お問い合わせ先

- 弘前市 企画部 企画課
- 青森県 中南地域県民局地域整備部 河川砂防施設課
- 青森県 県土整備部 河川砂防課

電話番号0172-35-1111  
電話番号0172-32-1131  
電話番号017-722-1111

土砂災害や水害は大雨などに伴って発生しますが、いつどこで起きるかを予測することは困難です。私たちは、災害が発生しそうなときや災害が発生してしまったときに被害を最小限に食い止められるよう、日常から災害を意識し、これに対する訓練を心がけておく必要があります。





土砂災害ハザードマップ（防災地図）は、集中豪雨などによって「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」などが発生した場合に、危害がおよぶおそれがある範囲や、各地区の避難場所などを示した地図です。

集中豪雨などにより土砂災害が発生するおそれがあるときには、テレビ・ラジオ等で最新情報に注意し、状況に応じて速やかに安全な場所へ避難してください。いざというときに備え、あなたの家の近くの安全な避難場所やそこまでの道順を確認しておきましょう。

なお、この地図に示した区域以外のところでも土砂災害は発生することがありますので、現地の状況には十分注意し、危険を感じたら近づかないようにしてください。

平成22年3月 弘前市

## ■土砂災害の種類と前兆

土砂災害の3つのタイプ		こんな前兆には要注意！	
がけ崩れ	 <p>大雨によって土の抵抗力が弱まり、斜面が突然崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、一瞬にして崩れ落ちるため、逃げ遅れる人も多く、大きな被害をもたらします。</p>	<p><b>がけ崩れの前兆</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●がけからの水がにごる</li> <li>●がけに亀裂が入る</li> <li>●小石が落ちてくる</li> <li>●がけから異様な音がある</li> </ul>	<p><b>地すべりの前兆</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地面にひび割れができる</li> <li>●井戸や沢の水がにごる</li> <li>●斜面から水がふき出す</li> </ul>
土石流	 <p>谷や斜面に堆積した土砂が、大雨によって水と一っしょい一気に流れ出す現象です。流れが速く、破壊力も大きいので、甚大な被害をもたらします。</p>	 <p><b>土石流の前兆</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●雨が降り続けているのに川の水位が下がる</li> <li>●山鳴りがする</li> <li>●立ち木のさける音、石のぶつかりあう音が聞こえる</li> <li>●川の水が急ににごったり、流木が混ざる</li> </ul>	
地滑り	 <p>比較的ゆるやかな斜面で起こりやすく、地下水などの影響によって斜面全体がゆっくりと動き出す現象をいいます。場合によっては一気に滑り出すこともあります。</p>		

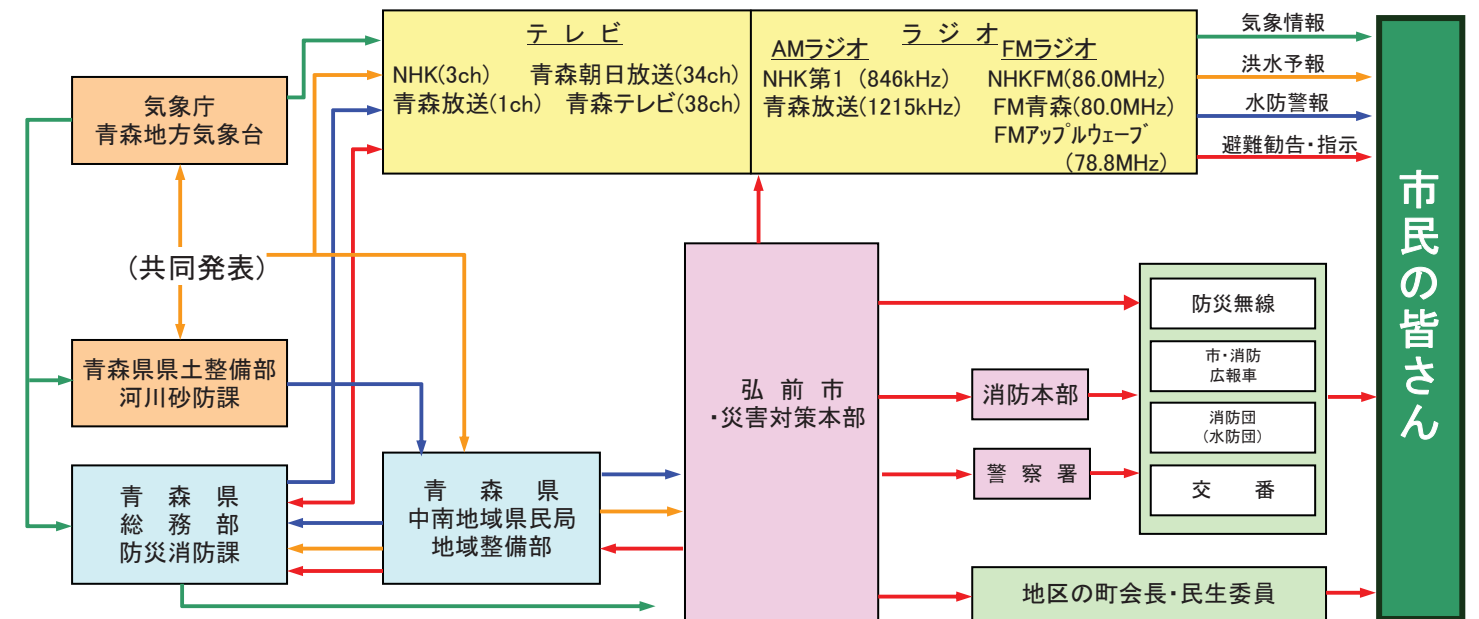
## ■弘前市における災害などの発生状況

弘前市では、過去に繰り返し風水害などに襲われています。

西暦	年月日	災害種別	災害状況
1958	昭和33年8月	水害	集中豪雨(総雨量220mm)により岩木川の堤防が決壊、被害総額約14億円
1958	昭和33年9月	水害	台風21号の豪雨により各河川がはん濫、土淵川を中心に水害発生
1972	昭和47年7月	水害	集中豪雨により岩木川、平川流域で水害発生
1975	昭和50年8月	土砂災害、水害	集中豪雨により百沢地区蔵助沢で土石流発生、各地で水害も発生
1975	昭和50年8月	水害	豪雨により各河川がはん濫、被害総額約95億円
1977	昭和52年8月	水害	集中豪雨(総雨量243mm)により各地で水害発生、被害総額約90億円
1991	平成3年9月	風害	台風19号の暴風により農林関係を中心に風害発生、被害総額約40億円

※弘前市地域防災計画(風水害等)から抜粋

## ■気象情報や避難情報の伝わり方



いざというときに備えて、地区の連絡網などをもう一度確認しておきましょう。

非常持ち出し品チェックリスト		常備品	
飲料水(ペットボトル)	雨具	インスタント食品	消化器
食料(乾パン・缶詰など)	ヘルメット	飲料水(ポリタンク)	固形燃料
缶切り・ナイフ	軍手	その他必要に応じて追加するもの	
救急セット	懐中電灯・電池	介護用品	赤ちゃん用品
下着・衣類	ろうそく・マッチ	常備薬	生理用品
タオル・毛布	携帯ラジオ(AM・FM放送)	<p><b>&lt;あなたの命を守るために&gt;</b> 万一、安全な場所へ避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(堅固な建物)の2階以上に避難するようにしてください。このとき、斜面や溪流に対して反対側の部屋にいる方がより安全です。</p>	
貴重品	現金(電話用小銭)		
筆記用具	レジャーシート		

### 弘前市指定避難所・避難可能施設(大久保地区)

施設名	電話番号	施設名	電話番号
大久保集会所	-		

### わが家の防災メモ

わが家の安全な避難場所		家族が離ればなれになったときの集合場所	
家族の連絡先		いざというときの連絡先	
氏名	電話番号	メモ	連絡先
			弘前市役所(代表)
			弘前消防署西分署
			弘前警察署
			電話番号 35-1111
			電話番号 82-3311
			電話番号 32-0111
			災害情報窓口 企画課